



# 哀しみの闇籠る夜の御大葬儀は今夜

## 文武百官参列して莊嚴の極み

### 大御柩を永へに鎮め奉らん

大正天皇、永へに神去り給ひ、宇内をあげて諒問の冷たき涙に掻きまき、間にけふも御尊骸を武蔵野に鎮め奉る永へに歸り給ふ御葬儀の大御葬儀の行はせらるる天も地も哭き萬民更に涙の新たなるを覺るるばかりである

# 各國の御名代や使節を御辭退

## 大正天皇御大喪には大公使が代つて参列

二月九日、大正天皇御大喪の御葬儀に各國の御名代や使節を御辭退され、大正天皇御大喪には大公使が代つて参列されることになった。

# 全國一齊に遙拜式

## 四十八發の甲砲を發射 午後六時御發引

全國一齊に遙拜式が行われ、四十八發の甲砲が發射された。午後六時に御發引が行われる。

### 御道順

宮城正門から、御道順が示されている。

### 引張り風の 大禮服

大禮服を着た参列者が、引張り風の空気を醸し出している。

### 大喪儀参列の 軍旗六十四

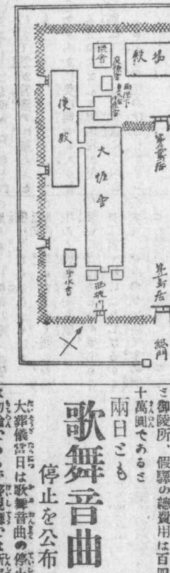
大喪儀参列の軍旗六十四が、荘嚴な姿を現している。

### 宮城から 葬場まで 一里半續く

宮城から葬場まで一里半續く、御柩の運搬が行われる。

### 古着屋 葬場殿全景

葬場殿の全景が、古着屋の目撃情報から明らかになる。



### 新宿御苑のゆかり

新宿御苑のゆかりが、葬儀の歴史と深く結びついている。

### 多摩御陵

多摩御陵の整備と、葬儀の準備が進行中である。

### 御間取り

御間取りの詳細が、葬儀の厳格さを示している。

### 歌舞音曲

葬儀に合わせた歌舞音曲の演奏が行われる。

### 宴會場として 擴張の必要

宴會場の擴張の必要が、参列者の増加から生じている。

### 七種の哀音を 出す御柩車

七種の哀音を出す御柩車の製作が完了した。

### 四頭の牛の飾り物

四頭の牛の飾り物の製作が完了した。

### 御大喪諸儀

御大喪諸儀のスケジュールが発表された。

### 靈柩列車の編成

靈柩列車の編成が決定された。

### 供奉列車

供奉列車の編成が決定された。

### 閑院總裁宮の 御親筆で御陵名

閑院總裁宮の御親筆で御陵名が決定された。

### 靈柩列車の編成

靈柩列車の編成の詳細が発表された。

### 供奉列車

供奉列車の編成の詳細が発表された。

### 靈柩列車の編成

靈柩列車の編成の詳細が発表された。

### 供奉列車

供奉列車の編成の詳細が発表された。



### 先帝奉悼歌と曲譜

第一 地はひれ伏して天地に いのりし誠をわれず 日出づる國の國民は お平めわかぬ國語少く

第二 おはみはふりのけふの日に 流る涙もよなし きざらぎの空響はみ 遠い心はこぼれはじ



## 御製に拜する 雄大なる御氣風

### 明治大帝の御血をうけて 御幼少より歌道へ

先帝は古今を通じての歌人に  
おはした明治大帝の御血をうけ  
おはした明治大帝の御血をうけ  
おはした明治大帝の御血をうけ

御手はさきぎて高崎正風  
大人に侍りて高崎正風  
大人に侍りて高崎正風

御幼少より歌道へ  
御幼少より歌道へ  
御幼少より歌道へ

### 奉悼歌詞

文部省から發表  
二月七日は、先帝の御生誕  
御幼少より歌道へ

悲しきうに  
いな、く  
先帝の御愛馬  
百卅六回の召の  
光榮を得た杉園

### 先帝の御愛馬

百卅六回の召の  
光榮を得た杉園

先帝の御愛馬は、  
百卅六回の召の  
光榮を得た杉園

### 先帝の御逸事

宮中御儀式にも御意見  
行啓先より御親陛下へ御親書

先帝の御逸事、  
宮中御儀式にも御意見  
行啓先より御親陛下へ御親書

### 天資英明に渡らせられた

先帝の御逸事、  
宮中御儀式にも御意見  
行啓先より御親陛下へ御親書

### 御治政十有五年

實算今茲に御四十八

御治政十有五年、  
實算今茲に御四十八



### 扇に開いた武州

平原の要の地  
山紫水明の淨地として名高き  
新山陵の多摩陵

### 扇に開いた武州

平原の要の地  
山紫水明の淨地として名高き  
新山陵の多摩陵

### 御治政十有五年

實算今茲に御四十八

御治政十有五年、  
實算今茲に御四十八

### 御製

夜駕輝耀遠州  
滿天明月思悠々  
何時能遂平生志  
一躍雄飛五大洲

御製、  
夜駕輝耀遠州  
滿天明月思悠々  
何時能遂平生志  
一躍雄飛五大洲

### 御治政十有五年

實算今茲に御四十八

御治政十有五年、  
實算今茲に御四十八

### 御治政十有五年

實算今茲に御四十八

御治政十有五年、  
實算今茲に御四十八